

University of Illinois at Chicago

RefWorksフォルダ
を利用したヘルス
ケアリソースの共有



情報リソースを効率的に整理し、その場限りのリクエストに対応する方法を必要としていたイリノイ大学シカゴ校の医学部門は、Ex Libris RefWorksの共有フォルダを使用してスマートリポジトリを作成しました。

「最も関連性の高い文献を見つけて該当分野に関するリソースの新しいセットを作成し共有するのはとても簡単です」

Mary Keehn, University of Illinois at Chicago



The University of Illinois at Chicagoについて

世界有数の大都市の中心部に位置するイリノイ大学シカゴ校は、市内唯一の公立研究大学で、16のカレッジで33,000人の学生が勉強しています。7つのカレッジは医療専門職に特化しており、大学の関連病院と健康科学システムであるUIヘルスと提携しています。イリノイ州全体では、医師、歯科医師、薬剤師の3人に1人、ソーシャルワーカーの4人に1人、そして8,000人の看護師がUI Healthで訓練を受けています。

複雑で多面的な分野

医療における多職種連携教育とは、医療専門職の分野を超えた実践者間の連携と相互理解を促進することです。多職種連携教育のトピックは多岐にわたるため、特定の専門職に関連する情報を見つけるのに時間がかかることがあります。イリノイ大学シカゴ校のMary Keehn氏はしばしば自分自身が情報源としての役割を果たしていました。彼女は多職種連携教育のディレクターであり、臨床担当の副学部長も務めています。時が経つにつれ、彼女と同僚はEx Libris RefWorksの共有フォルダを使用することで、リソースの検索、整理、普及、問い合わせへの対応を効率的に行うことができることに気付きました。共有フォルダを使用すると、受信者がRefWorksアカウントを持っているかどうかに関わらず、特定の電子メールグループや公開URLを介して、情報リソースのコレクションを簡単に作成して共有することができます。

成長する情報リポジトリへ

Keehn氏は、RefWorksを使用するようになった経緯を次のように説明しています。「2007年頃のUICに多職種連携教育の推進に関わっている教員が集まっていました。私たちの取り組みには13の異なるプログラムが関わっていたので、情報を共有する方法を考え始めました。もっとリソースがあれば、他のプログラムも加える事ができたと思います。

「私たちは、多職種連携教育について質問されたときに紹介することができるようなリポジトリを作りたいと考えていました。そこで文献の収集を開始し、ホームページにサブジェクトガイドを掲載しました。最初は文献のリストを記載したWord文書を投稿するだけのつもりでしたが、より多くのリソースと一緒にサブジェクトガイドに埋め込むための共有フォルダを作成することに決めました。グループのメンバーに図書館員がおり、RefWorksで共有フォルダを使うことを提案してくれたのです。」

努力の甲斐あってRefWorksの利用が増加しました。Keehnはさらにフォルダやサブフォルダの作成を開始し、新しい参考文献を追加し、より個別の、分野別、専門職別、トピック別の情報やリソースを共有しました。



UI Health



「RefWorksはこれらの全てのリソースを一箇所に集められるうえ、これまで試したどの方法よりも素早く情報をみつけられるようにしてくれました。」

Mary Keehn, University of Illinois at Chicago

個別の問い合わせへの効率的な回答

RefWorksの利用でKeehnは適切なリソースを迅速に探し出し提供することができるようになりました。「例えば、『新生児集中治療における多職種連携教育について何か知っていますか？何からはじめれば良いでしょうか？』という問合せわせが来たとします。そこで私はRefWorksのフォルダに行き、いくつかのキーワードで検索した結果を確認します。最も関連性の高い文献を見つけて該当分野に関するリソースの新しいセットを作成し共有するのはとても簡単です。」とKeehn氏は説明します。

現在、彼女はトータルで約2800件の文献を保存しており、「例えばHIV予防のための多職種連携教育(IPE)におけるシミュレーションの使用に関する論文は、シミュレーション、IPE、HIVの3つのフォルダに分類できます。」と、1つの文献情報を複数のクエリに適用することができると説明しています。

彼女がRefWorksを利用して始めた、文献の保存とアクセス、そして検索結果の提供という一連の手法は多職種連携教育のゴールを効果的に支援しています。「例え同じテーマであっても、異なる専門家の視点から見た記事を意図的に入れています。複数の著者の情報を入れることによって、異なる視点があることに気がつくからです。」

加えて、RefWorksに各分野専用のフォルダを作成することで、利用者のリクエストに合わせた膨大なリストを作成する必要がなくなり、彼女の仕事の時間的コストの削減につながっています。「重要ないくつかの文献をハイライトし、文献情報を作成します。利用者に返信する際にはRefWorksの共有フォルダにさらに多くの情報があることも伝えます。」

The logo for ExLibris RefWorks. It features the word "ExLibris" in a dark grey sans-serif font, with a rainbow-colored arc above the "i". Below it, the word "RefWorks" is written in a blue sans-serif font.

新たな効率性への期待

Keehn氏自身は授業を受け持っていないですが、他大学の学生や教員、同僚と頻繁にやり取りをしており、常に効率的な情報共有のためのRefWorksの新しい活用方法に敏感です。例えば「多職種連携教育のウェブサイト」に、よくある質問のセクションを入れようと考えています。具体的には質問に対する回答を集めた共有フォルダのリンクを貼るだけでなく、定期的に書誌情報の記録を入れたいと考えています。これは大学外の利用者からくるものだからです。」RefWorksのパブリックURLを利用することでUICに所属しない同僚でも共有フォルダにアクセスすることができます。彼女はまた、膨大な情報量のフォルダから簡単にレファレンス文献を見つけるためにタグを活用しています。

最終的に患者の治療結果を改善することの重要性

Keehn氏は多職種連携教育とその重要性を語ります。

「医療職に特徴的なところは、伝統的にサイロで教育されてきたことです。従って 個人的な能力と自律性が最も重要なことだと私達は伝えしてきました。これが個々のプロフェッショナルを形成していくのです。

私たちは集団的能力と共同責任について考えられるように促し、他の職業の役割や責任についての思い込みを避け、仲間との効果的なコミュニケーションを取れるようになることを目指しているのです。専門職内であれ多職種間であれ、質の高い共同作業が行われている場合、患者に対する治療が改善されることが医学的にも示されています。」

では、RefWorksの果たす役割は何でしょうか？この質問に彼女は「教育と実践においてこの分野は新しいので、常に沢山の情報が発信されており、また多方面の分野から届きます。発展途上で重要な情報は見逃したくはありません。だからこそ一元的に閲覧できることが重要なのです。RefWorksはこれらの全てのリソースを一箇所に集められるうえ、これまで試したどの方法よりも素早く情報をみつけられるようにしてくれました。」



Ex Librisについて

Ex LibrisはProQuest社の傘下であり、機関とそのユーザーが知識の創造、管理、共有を可能にするクラウドベースのソリューションを提供する世界的なリーディングカンパニーです。お客様や地域社会との緊密な連携のもと、図書館の生産性を高め、研究活動のインパクトを最大化し、教育と学習を強化し、学生のモバイルエンゲージメントを促進するソリューションを開発しています。Ex Librisは世界90カ国、7,500人以上のお客様にサービスを提供しています。より詳細な情報は[ウェブサイト](#)、また [LinkedIn](#)、[YouTube](#)、[Facebook](#)、[Twitter](#)からどうぞ。

